

原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録（案）

日時：2023年7月19日(水) 10:00～10:35

場所：Zoomによるオンラインミーティング

出席者（順不同、敬称略）

所外：井川 和代（岡山大学）、吉橋 幸子（名古屋大学）、三浦 勉（産業技術総合研究所）、
納富 昭弘（九州大学）、益谷 美都子（長崎大学）、川端 信司（大阪医科薬科大学）、
中村 浩之（東京工業大学）、大場 洋次郎（豊橋技術科学大学）、佐野 忠史（近畿大
学）、太田 朋子（長岡技術科学大学）、北口 雅暁（名古屋大学）

所内：櫻井 良憲、鈴木 実、山村 朝雄、日野 正裕、高宮 幸一、近藤 夏子、
（事務局）新野 尚子、山下 加恵、中山 千代子、（オブザーバー）吉野 泰史

添付資料：

資料1：幹事会議事録(案)20230112

資料2：総会議事録(案)20230310

資料3：令和5年予算(案)

資料4：令和5年度活動予定

議題：

1. 事務局について
2. 前回幹事会議事録の確認
3. ホットラボ「元」技術室の利用について
4. 共同利用支援のための物品購入(残高有効利用)について
5. 今年度の活動予定（幹事会、総会予定）
6. その他

開会の挨拶の後、井川代表幹事が司会進行を務め、以下の通り幹事会が実施された。

1. 事務局について（櫻井幹事）

昨年度までの仲谷氏に代わり今年度から共同利用掛が担当することになった旨、説明があつた。特に意見はなかつた。

2. 前回幹事会議事録の確認（櫻井幹事）

合わせて、総会議事録の確認も行った。特に意見はなかつた。幹事会終了後に意見がある場合は、事務局あるいは総務幹事・櫻井までメールにて連絡することとした。1週間程度待ち、特に意見が無い場合は、記事録を確定することとした。

3. ホットラボ「元」技術室の利用について（櫻井幹事）

ホットラボ(HL)を入り右側に守衛がいるブースの後ろ側にあつた技術室（8 m×8 m）が第2研究棟に移転し、その部屋が共同利用に関するスペースとして利用できるようになる旨、説明があつた。

共同利用掛・中山氏より以下の補足説明があつた。

- ・宿泊所がなくなったこともあるので、仮眠室としても利用できれば有益と考えている。
- ・共同利用者の要望を聞きたい。

実験設備管理部・吉野氏より以下の補足説明があつた。

- ・居室調整ワーキンググループで要望をあげて、協議員会で認められた。
- ・外にある緊急対策室と繋がるドアがある。緊急対策室にある緊急資材の搬入や、設置される可能性のある医務室とのアクセスをどうするか、テーブル等をどうするか、などを検討する必要がある。

また、同氏より以下の質問があった。

- ・共同利用者からの意見聴取をどのようにすればよいのか？

櫻井幹事より以下の回答があった。

- ・利用者グループのメーリングリスト(ML)等を用いて聴取することが可能と考えている。

大阪医薬大・川端幹事より以下の質問があった。

- ・この部屋に関する費用は研究所から出るとか？

櫻井幹事より以下の回答があった。

- ・利用者グループの予算とは別に、研究所から出ると考えている。

産総研・三浦幹事より以下の意見があった。

- ・個別に使える打ち合わせスペースを要望する。
- ・現状では、ロッカーの空きが無い場合がある。

櫻井幹事より以下の回答があった。

- ・パーティション・机の設置を検討する。
- ・ロッカーの増設を検討する。

高宮幹事より以下の質問があった。

- ・現在利用されている HL に入ったところの左右にある共同利用セミナー室と控室の使い方は変わらないという理解で良いか？

吉野氏より以下の回答があった。

- ・HL 実験準備室（ニューマカプセルの封入作業等を行っている部屋）も含めて、用途見直しをした上で整備できれば良いと考えている。

この回答を踏まえて、高宮幹事より以下の意見があった。

- ・4室合わせた総合的なレイアウトを考える。
- ・利用者の意見を聞いて、各部屋の役割を検討する。
- ・所外の方は部屋の場所等についてイメージしにくいと思われるので、図面を付してアンケートを取ってほしい。

櫻井幹事より以下の回答があった。

- ・MLで流して意見を聴取していく。

4. 共同利用支援のための物品購入(残高有効利用)について（櫻井幹事）

70万円の残高のうち今年度使用予定の40万円の使用状況について、以下の報告があった。

- ・教育用タブレット：機種を選定し、2台購入予定。
- ・自転車：現在、共同利用掛で管理している自転車は、電動自転車5台、普通の自転車5台。普通の自転車が老朽化していることから、普通の自転車の更新を検討する。ワーキンググループで決定後、メールにて報告。
- ・HL「元」技術室に関する物品：各部屋の役割や用途がある程度固まった後、関連する物品の購入を検討。

5. 今年度の活動予定(幹事会、総会予定)（櫻井幹事）

今年度は選挙がないことから、以下のスケジュールとする旨、説明があった。

- ・幹事会：1回目(2023年7月19)、2回目(2024年1月上旬)。

・総会：2024年3月。

議論すべきことが生じた場合は、別途、幹事会を開催するので、事務局あるいは総務幹事・櫻井までメールにて連絡することとした。

6. その他（井川幹事）

長崎大・益谷幹事より以下の意見があった。

・大学での化学物質の規制が厳しくなり、送付する場合に気をつけるべきことが増えていられる。京大の規制について共有してほしい。

鈴木幹事より以下の回答があった。

・京大で受け入れる際には、京都大学化学物質管理システム(KUCRS)に登録することになっている。持ち出す際も KUCRS で手続きする必要がある。これを守って頂きたい。

益谷幹事より以下の質問があった。

・KUCRS のマニュアルはあるのか？

鈴木幹事より以下の回答があった。

・担当教員が KUCRS を操作するので、担当教員と連絡を取って頂きたい。

櫻井幹事より以下の意見・提案があった。

・利用者にルールが明確に周知されていないと思われる。ML 等を利用して周知する。

井川代表幹事より、利用者グループの ML を利用した「HL 元技術室利用に関する意見聴取」および「薬品管理の周知徹底」について確認があった後、閉会となった。

以上